令和4・5年度 大島地区研究協力校「人権教育」
天 城 町 立 天 城 中 学 校 公 開 研 究 会

【研究主題】 認め合い 伝え合い 主体的に学び合える生徒の育成
～自己有用感を高める教育活動を通して～

1 研究構想及び研究内容

学校教育目標
主体的に学び 心豊かで たくましい生徒の育成

実践課題
自己有用感や自尊感情、他者を思いやれる言動の育成

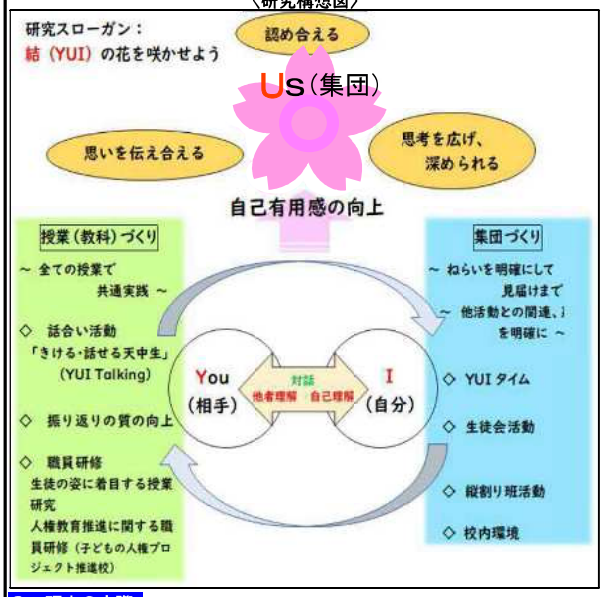
研究主題
認め合い 伝え合い 主体的に学び合える生徒の育成
～自己有用感を高める教育活動を通して～

研究主題の文言

「主体的に学び合える生徒」の姿とは
意欲や自信をもって考えを伝え合いながら、協働して課題解決のために最後までやりとげ、新たな気づきや変容、思考の広がりや深まりを実感することができ、さらに次の学びへの意欲をもつことができる姿

「自己有用感を高める教育活動」とは
自分のよさや可能性を見つけ、生かすことができる活動や人の役に立った、認められたと実感できる活動、また、互いを認め合いながら協働して課題を解決していく活動

〈研究構想図〉



研究内容①：授業（教科）づくり 主体的な学びのために

(1) 話合い活動の充実：互いの思いを大切にして、考えを広げ深める話合い活動
- ○ きく姿勢、話す姿勢、返事・反応・応答［「きける・話せる天中生」（YUI Talking）］
- ○ 話合い活動の「目的」、「方法」の明確化（教師も生徒も）
- ○ 話合い活動の練習（朝活の時間） ○ ファシリテーターの育成

(2) 振り返りの質の向上：自分を知るための、自分と向き合う時間
- ○ 「視点」を明確にした学びの振り返りと振り返りへの教師のフィードバック

研究内容②：集団づくり 温かい人間関係の構築のために

(1) YUIタイム：互いのよさを見つけて伝え合う時間
- ○ 道徳や学活での SGE、SST。帰りの会での次の日への希望をもたせる「1日の締わり」の実践

(2) 生徒会活動：貢献、協力、相互補完
- ○ 一人一役で、それぞれに活躍の場がある学級組織（専門部活動）の再編と実践
- ○ 人権感覚を磨く「人権教室」の実施（『みんなが安心して過ごせる学校づくり宣言』作成）

(3) 縦割り班活動：自覚や自信、自己有用感の高揚
- ○ ゴミ0運動 ○ 入学体験会（中1による交流会の企画・運営） ○ 全校レクリエーション

(4) 校内環境：メッセージを伝え合う、活動を振り返る
- ○ 「ありがとうの木」作成 クラスメイトや学年を超えて感謝などのメッセージを伝え合う
- ○ 「人権について考える」コーナー（関連図書コーナー、事後の振り返りや感想の掲示）
- ○ 各種作品展示（振り返りと教師のコメント）

2 研究の実際

【話合い活動の充実】

1 話合い活動の目的の明確化
ア 思考を広げる、深める
イ 複数の人の思考をまとめる
ウ 理解の補充、深化のための 教え合い

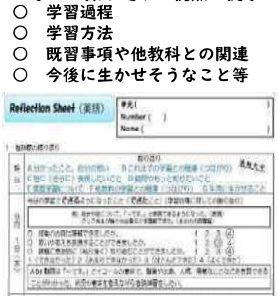
2 Yui Talking

3 話合い活動の練習［朝活20分間］
ア 次時に生かす振り返り(生徒も教師も)
イ テーマ設定の工夫(適時性・必要感)

4 ファシリテーター(進行役)育成
［養成講座及び朝活20分間の実践］

【質の高い振り返り】

1 学びの振り返りの視点の提示
- ○ 学習過程
- ○ 学習方法
- ○ 既習事項や他教科との関連
- ○ 今後に生かせそうなこと等



2 振り返りへの教師のフィードバック（価値付け、問いかけ）

【生徒会活動】人権教室にて作成

「みんなが安心して過ごせる学校づくり宣言」

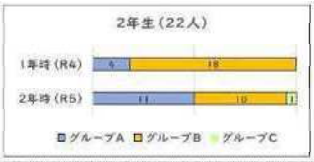
一 わたしたちは、お互いに個性を伸ばし合うために授業や行事に対して全力で取り組みます。自分の考えを周りにしっかりと伝え、感じ方、考え方の違いを受け入れます。○○○

二 わたしたちは、お互いをより深く知り、認め合うために授業や生活の中で、みんなの意見をしっかりと聞きます。みんなの得意なところや自分との共通点を見つけます。いろんな人と話をします。○○○

三 わたしたちは、お互いを大切にするために「いじり」をしません。イヤだ、めんどうだと感じることほど、協力して頑張ります。いじめダメ絶対。○○○

【校内環境】

3 研究授業及び全体会・分科会の様子



上記グラフのグループA～Cは、「学校楽しい－ど」の自己有用感に係る4つの質問において、「思う」を4点、「どちらかといえば思う」を3点、「どちらかといえば思わない」を2点、「思わない」を1点と換算し、合計最高値16点中、13点以上をAグループ、12点から9点をBグループ、8点以下をCグループとした。グループBからAになった生徒が、2年、3年とも多い。グループBのまま変化のなかった生徒の中には、合計数値が増えている生徒もいる。

公開研究会アンケートより

1 研究発表について
- 話し合い活動を充実させるために、YUI TalkingやTenchuなど、生徒も教師も意識しやすい、天城中ならではの目標を掲げて、職員が一丸となって取り組んでいる姿はすごいと思いました。

2 公開授業について
- イメージを設定して（設定させて）グループ活動による琴の作曲に1限のみで終わるのではなく、更にその活動を深める助言があり、とても参考になりました。

3 分科会について
- 人権教育についての天城中学校の取組、どういう視点で見、どう活動していくのかよくわかり、これからの授業や生徒との接し方に生かしていこうと思います。